

2020（令和2）年度の主な取組状況

◆圏域証の配布

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る緊急事態宣言により、生活の維持のために必要な場合を除き、県境を越えた移動の自粛要請がなされたなか、当圏域が県境を越えて生活圏を共有していることがわかる「圏域証」を作成し配布しました。

当圏域は、県境をまたぎ、生活圏を共有する一つの地域であり、買い物や通勤、通院などで県境を越える移動が日常となっています。「圏域証」を車のダッシュボード等に掲示いただくことで、圏域住民が通勤や通院等の生活に必要な移動について、これまでどおり往来することができ、圏域住民の「安心」に繋がりました。

＜実績＞配布枚数：約 4,700 枚（窓口、各戸配布）

◆圏域市町村長インタビュー動画の放送

ケーブルテレビ、伊賀市公式 YouTube において、4市町村の首長による圏域住民へのPR動画を放映するとともに、圏域内の各町村においても同映像を公開しました。動画では、「圏域内市町村に期待すること」や「将来展望」について語られています。

◆病児保育室を開所（医療・福祉部会）

新たな病児保育室を開所し、利用対象者を圏域住民に拡大しました。圏域全体で仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てできる環境の充実に繋がります。

◆伊賀上野シティマラソンのオンライン開催（教育部会）

伊賀上野シティマラソンをオンライン形式により開催し、連携町村へチラシ等の配布による周知を行いました。

＜実績＞伊賀市：97 人、山添村：4 人

◆情報提供（交通・情報部会、各部会）

それぞれの広報紙やホームページ等で連携市町村のイベント情報や主な連携事業を掲載しました。

情報交流コーナー：各広報紙 7月号、11月号、1月号

ダイヤル 24：広域広報（笠置町・南山城村） 毎月掲載